

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 614 号
2012年8月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

7 月 2 日

新本社・工場オープン

去る3月24日竣工祝賀式典を行った中畑町の新工場は、その後着々と付帯設備の充実工事を進めつつ、慎重に試験運転を開始した。

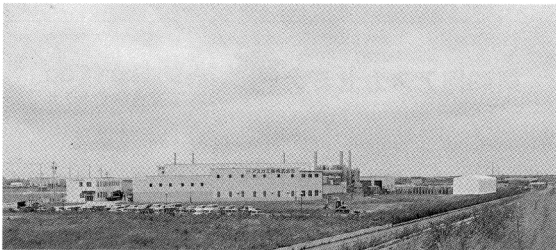
その間、原材料の搬入、集積が順調に進んで、6月11日、待望の全炉本格稼働を迎えるに至った。一方、寄住工場は6月19日を以って完全に操業を終了、半世紀の歴史を閉じた。そして6月末までに本社機能も移転を終り、7月2日より中畑町の新社屋ですべての営業活動と生産活動がオープンした。

多年の懸案の新立地への移転が終り、社員一同の大

きな夢が実を結んでその喜びは大きい。永い間、旧寄住工場は大型車輛の交通規制により、原料搬入と製品出荷で輸送業界の各位に多大のご迷惑をお掛けしてきたが、新工場への移転によって一切の交通規制から完全に開放されることになった。

新型炉による二酸化炭素の発生の抑制と、溶湯の冷却曲線解析による酸化物極少化で、一層の安定供給と安定品質を追求する覚悟を社員一同新たにし、同時にご関係先の一層のご支援を大きく期待している。

(写真は操業開始の本社・工場。)



夏季休日
のご案内

まことに勝手ながら下記のように連休とさせていただきますのでご案内を申し上げます。

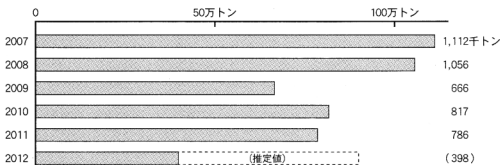
8月12日(日)より
8月19日(日)まで

2012年アルミ合金生産 100万トンに達するか？

このほど一般社団法人日本アルミニウム合金協会が発表した2012年1～6月のアルミニウム合金地金の生産量は397,736トンで、しかも月を追う毎に堅調に推移している。

自動車生産の順調な後半を考慮すると、業界待望の年間100万トンをうかがう水準に達している。一方、欧州の金融不安や発展途上の経済不安定化が表面化し、90万トンがヤマとする見方もある。

アルミ合金地金歴年の生産実績



第49回アスカセミナー

10月12日・13日
吉良観光ホテル

アスカ工業株式会社では、昭和39年の秋に第1回アスカ・セミナーを開催した。以降、秋の年中行事として好評のうちに回をかさね、本年は第49回目のセミナーをむかえることになった。

第49回アスカセミナーは、

- ・10月12日（金曜日）13日（土曜日）
- ・会場 吉良観光ホテル（三河湾国定公園）

で挙行に決定した。

セミナーの講師は毎年各界のエキスパートが選ばれる。目下慎重に人選中で、近日中には発表の予定である。

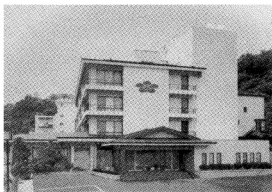
懇親ゴルフ・コンペは10月13日午前スタートで吉良カントリー・クラブ（吉良町乙川）が予定されており、例年どおりの熱戦が期待されている。

アスカ・セミナーは毎年有益なセミナーを行い、その後盛大な懇親会を挙行して、秋の夜長を心ゆくまで「きらり」を味わい楽しむよう年ごとに企画されて

きた。

本年秋も全国から大勢様のご参加とご協力を得て、例年以上の盛大なセミナーの挙行ができるよう大きく期待されている。

（写真下・吉良観光ホテル）



2011年度 アルミ缶リサイクル率92.5%

アルミ缶リサイクル協会（理事長・昭和アルミニウム株式会社社長藤原孝雄氏）は、このほど2011年度の飲料アルミニウム缶のリサイクルの調査結果を発表した。これによれば、

- ・アルミニウム缶回収量
275,715トン（173億1千万缶）
- ・アルミニウム缶消費量
298,224トン（188億1千万缶）
- ・アルミニウム缶リサイクル率
 $\frac{\text{回収重量 (275,715トン)}}{\text{消費重量 (298,224トン)}} = 92.5\%$
- ・CAN TO CAN率
 $\frac{\text{缶材向け重量 (177,916トン)}}{\text{回収重量 (275,715トン)}} = 64.5\%$

CAN TO CAN率は回収された缶のうち、缶材に再利用された割合で、缶材以外は鋳物用、ダイカスト

用、製鋼酸材用などに利用されている。

前年度と比較すると、

アルミニウム缶回収量	+ 1.1%
アルミニウム缶消費量	+ 1.3%
リサイクル率	- 0.1%
CAN TO CAN率	- 5.6%

CAN TO CAN率を除く数字に大きな変動はない。CAN TO CAN率の低下は、鋳物やダイカスト用の活発な需要から、缶材向けが減少したものと考えられる。

また、平成23年度に、韓国向けに2,422トンの使用済みアルミニウム缶が輸出されたと協会は推定している。この輸出品がすべて再利用されたとすれば、リサイクル率は93.2%に上昇する。

飲料用アルミニウム缶の需要は景気の変動を殆んど受けない商品で、アルミニウムの安定需要のナンバーワンとされる。



7月13日（金曜日）午後、西尾市矢曾根町のショッピングモール、フィール・イツモに於て、西尾警察署は『交通安全レディー』による〈飲酒運転根絶キャンペーン〉を実施した。この交通安全レディーとして瀬戸山美沙さん（総務部）－写真中央－が参加、華やかに交通安全を呼びかけた。



吉良ワイキキビーチ へどうぞ

西尾市吉良ワイキキビーチは大人気の夏の行事がたくさん。是非ご来遊あたのしみ下さい。

- ・ 8月4日 サッカー・ゴール・ゲーム
- ・ 8月5日 ビーチ・フラッグズ大会
- ・ 8月11日 大声コンテスト大会
- ・ 8月13・14日 大盆おどり大会
- ・ 8月27～31日 ハワイアン・フェスティバル



社内情報

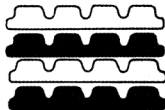
- ◎ 新本社・工場は矢作川の清流に隣接して、風光明媚、雄大な三河平野の一隅を占めて、美しく豊かな自然が満喫できます。
- ◎ 環境が一変いたしましたので、是非一度ご来遊いろいろご指導を賜りたいと存じます。
- ◎ 電力不足問題が心配されていましたが、関西電力の原子力発電所の発電再開が決まり、当地中部電力も供給万全と伝えられて安心いたしました。

編集後記

- 暑中お見舞いを申し上げます。
- 局地的な大雨、洪水が伝えられています。かさねてお見舞いを申し上げます。
- アスカ・セミナーの開催日が発表されました。例年のように多くの皆様のご参加をえて、盛大に、有意義に開催できますよう祈っています。
- 夏季休日を1頁所報のように行いますので、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500 代

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>